

# 第1章 調査研究の概要

- 1 調査研究の目的
- 2 調査研究の方法
- 3 調査研究の内容
- 4 質問紙調査の概要
- 5 聞き取り調査の視点と調査先の選定

# 第1章 調査研究の概要

## 1 調査研究の目的

各地域において特性を活かした「地域づくりに資する社会教育事業」が展開されるよう、事業のプロセス・手段とその成果を計る評価方法について調査研究を行う。

## 2 調査研究の方法

法律・答申、先行研究報告書、論文等による理論研究、実態を把握するための質問紙調査及び聞き取り調査（6事例）を行った。

令和2年度はモデル事業の開発・実施、令和3年度は検証を行うこととし、3カ年で実施する。

## 3 1年次調査研究の内容

質問紙調査及び聞き取り調査を実施し、「資料編」として本報告書を作成した。また、柱は次の4つとした。

- (1) 事業の概要 : 開始時期、始まった理由やきっかけ、背景、目的、運営主体の組織の概要
- (2) プロセス・手段 : 組み立てていく上で重視していること、進める上で必要な手段
- (3) 取組の評価指標 : 成果の計り方
- (4) 成果と課題 : 担当者からみた成果（地域や参加者等の変容など）、実施する上で難しいと感じていること、今後の方向性等

## 4 質問紙調査の概要

令和元年度は、「人口減少時代の新しい地域づくりに資する社会教育事業に関する調査」と題して質問紙による調査を行った。

- (1) 調査対象 : 道内市町村教育委員会（179市町村）
- (2) 調査期間 : 令和元年9月～12月
- (3) 調査内容 :

道内で取り組まれている地域の課題解決を目指す住民参画型事業の実施の有無、概要、取組内容、成果、事業を組み立てていく上で重視していること、事業を実施するに当たり難しいこと、事業を実施していない理由等について選択肢を設けて回答をしてもらう調査票調査とし、設問数は7問とした。なお、一部の設問については、当センターが平成20年に実施した「地域課題解決を目指す社会教育事業のあり方に関する調査」の結果との比較が可能となるよう、設問や選択肢を一部活用した。

## 5 聞き取り調査の視点と調査先の選定

令和元年度は質問紙調査により特徴的な取組を実施している市町村を7段階に分け（表1-1）、地域データや事業継続年数等が同一とならないよう配慮しながら聞き取り調査先を選定し、訪問による聞き取り調査を行った（表1-2、表1-3）。

表1-1 地域データの項目と7段階の分け方

段階	1	2	3	4	5	6	7
人口	～3,000	3,001～5,000	5,001～7,500	7,501～10,000	10,001～20,000	20,001～40,000	40,001～
増減率	-4%未満	-4%～-10%未満	-10%～-13%未満	-13%～-15%未満	-15%～-17%未満	-17%～-19%未満	-19%以上
高齢化率	24.9%未満	29.9%～25%	34.9%～30%	39.9%～35%	44.9%～40%	49.9%～45%	50%以上
実質公債費比率	～3.9	4.0～7.4	7.5～9.4	9.5～11.4	11.5～13.4	13.5～15.4	15.5～
産業	1次	1次+2次	1次+3次	2次	2次+3次	3次	1次+2次+3次

表1-2 聞き取り調査先と地域データの関連

No.	聞き取り調査先	地域データ（段階）				
		人口	増減率	高齢化率	実質公債費比率	産業
1	知内町	4,388（2）	-8.3（2）	38.6（4）	13.1（5）	1次+2次（2）
2	訓子府町	4,968（2）	-6.1（2）	37.6（4）	6.2（2）	1次+2次（2）
3	夕張市	8,033（4）	-19.0（7）	51.4（7）	71.8（7）	1次+2次+3次（7）
4	当別町	15,963（5）	-7.9（2）	34.1（3）	11.4（4）	2次（4）
5	千歳市	96,382（7）	2.2（1）	22.7（1）	9.1（3）	1次+3次（3）

注1：人口と高齢化率は、住民基本台帳人口（平成31年1月1日時点）に基づき作成

注2：増減率は、「平成27年国勢調査」（総務省統計局）に基づき作成

注3：実質公債費比率は、「市町村の財政状況（平成30年度決算）」（道総合政策部）に基づき作成

表1-3 聞き取り調査対象事業について

	項目	知内町	訓子府町	夕張市	当別町	千歳市
継続年数	1年以上5年未満	○		○		
	5年以上10年未満		○			
	10年以上				○	○
重視している点（※）	聞き取り調査等による地域の実情やニーズの把握	◎		◎		△
	地域住民や関係機関への周知・趣旨説明	○			○	
	参考となる事例の収集や地域への視察					
	対象の選定					
	事業に関わる人との方向性の共有		△	○	◎	◎
	開催場所の選定					
	振り返りの場の設定		○			
	継続性のある取組とするための工夫	△	◎	△	△	○
参加した住民の地域活動への参加状況の把握						
難しい点	住民の意識を啓発することや理解を得ること			○	○	○
	住民の参加や、取組への参画を得ること	○			○	○
	地域課題解決を目指す具体的な施策を設定すること	○			○	○
	指導者や運営者を確保すること		○	○		○
	事業予算等、必要な経費を確保すること				○	
	取組の目標となる指標や数値目標を設定すること			○	○	○
	自分のまちだけでは解決できない課題について、近隣の自治体と連携すること		○		○	
	自市町村の他部局と連携すること					
学校等の教育機関と連携すること		○				

（※）◎最も重要、○2番目に重要、△3番目に重要